

44年ぶりの「柵を越えた羊の数」展

高見澤文雄（8組）

若い人達が（といっても50近いですが）サウンド・アーカイブスというグループを作り、70年代いわゆるポストもの派の流れとしてあった作家達の音か映像を使った作品を発掘して発表したいとのことで訪ねてこられました。彼らは実によく過去の資料を調べ上げておりました。私の「柵を越えた羊の数」を取り上げたいとのことでした。

作品の内容は澤崎健一君（3組）の書いてくれた通りです。

44年前の作品が再び発表できるとは思ってもおりませんでした。

当時26歳、私はある会社に勤めながら制作を続け発表するという生活でしたが、現在まで制作を持続するという結節点になった作品かと思っています。

この作品は、もう一度年内に東京藝大のスペースで、グループ展として開催する予定があるとのことです。音も良くするとのことです。

その時、興味のある方はご高覧ください。

追：4月9日から4月28日、ヒノギャラリー（@中央区入船）で個展を開催します。

こちらもよろしくお願ひします。

【写真：展覧会会場での筆者】

